

2014年5月2日

## 「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」の研究開発計画（案）に関する意見

食品、輸入農作物への放射線照射の利用拡大検討と、それに必要な国民理解醸成の取り組みを提案します。放射線照射の利用により、食品ロス削減、食品安全性の向上（食中毒防止）、臭化メチル燻蒸に変わる有効な植物防疫の実施、が期待されます。その安全性は国際的に確認され海外では安全・有効に利用されていますが、日本では国民理解の不足を理由に検討もされていません。

海外で広く利用され、収穫物が日本へ輸入されている GM 作物について、国内の農家が商業的に利用できる体制の構築と、それに必要な国民理解の醸成のための情報提供を求めます。多くの GM 作物が国内での栽培が許可されているにも関わらず、農家は事実上利用できない状況にあります。高齢化が進む日本の農業生産を振興するためにも、省力化、生産性向上に有用な技術の国内利用を積極的に検討すべきです。